

# 地域保健学概論

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：講義

単位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：地域で生活している人々の健康と生活の質の向上を意図した、住民主体の保健・医療・福祉活動の基本理念や考え方について学ぶ。

■**到達目標**：①人々が生活を営む上での健康の意義を述べることができる。  
②様々な健康課題の解決に向けて、保健・医療・福祉対策が講じられていることを知る。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎喜多 歳子・本田 光

■**授業計画・内容**：

- 第1回 人々の健康と地域社会
- 第2回 乳幼児と家族の健康
- 第3回 学童と青年期の健康
- 第4回 成人の健康
- 第5回 勤労者の健康
- 第6回 高齢者の健康
- 第7回 人々の健康と保健・医療・福祉対策
- 第8回 地域保健学概論まとめ

■**教科書**：プリントを配布します。

■**参考文献**：国民衛生の動向（厚生労働統計協会）  
厚生労働白書（ぎょうせい）  
最新公衆衛生看護学第2版（全3巻）／宮崎美砂子他（日本看護協会出版会）  
公衆衛生マニュアル／柳川洋他（南江堂）  
公衆衛生がみえる2016-2017／医療情報科学研究所編（メディックメディア）

■**成績評価基準と方法**：レポート70%、授業態度・発表10%、課題の提出20%

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
レポート	◎	◎	レポートの評価基準(別紙)による	70
授業態度・発表	○	○	積極的な姿勢	10
課題の提出	○	○	課題等を提出していること	20
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生学、社会福祉学

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：人々の健康の課題を多面的に捉え、課題に対する住民主体の保健・医療・福祉活動を考えます。新聞・テレビのニュースや健康に関する情報に関心を持って臨んでください。